

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL (3404) 7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

ヘルパー
の仕事は

やりがい・魅力がいっぱい

大島きよ子さん（写真左）と石井淳香ヘルパー（写真右）の
ツーショット。笑顔が信頼関係の深さを物語っています

在宅介護を支えるヘルパー

在宅介護にとって欠かす事が出来ないヘルパーの役割と魅力について、利用者さんとその家族、ケアマネジャー、ヘルパー自身にそれぞれ語っていただきました。

「助かっています」と利用者さん

と利用者さん

在宅酸素療法を受 山在住）を尋ね、話を
け、医療・看護・介護 お聞きしました。
の在宅サービスを利用 大島さんの所へ毎
して暮らす大島きよ子 日、ふれあいサポート
さん（92歳、港区南青 渋谷のヘルパーさんが訪問して、食事介助、
清拭、立位介助などを
行っています。この日
も石井淳香ヘルパーが
訪問して、身体介護を
行っていました。
石井さんは、「ヘル
パーは利用者さんの食
事、体温調整などに気
を使い、ちょっとした
変化も見逃さないよう
にして医療につなげて
います」と医療との連
携を意識した介護を心

がけているそうです。

「いつも来てくれて
助かっています。自分
の娘より頼りにしてい
ます。」ときよ子さん
は、ヘルパーさんに信
頼を寄せています。
仕事の合間にきよ子
さんを介護する長女の
美奈子さんは、「仕事もあるし家のこともあ
ったので、もし医療・
看護・介護の在宅サー
ビスがなかったら、自
宅で過ごしたいという
母の願いは叶わなかっ
た。介護のサポートを
受けて2年半がたちま
す。最初はやっていけ
るのか、不安でした。
助けがあるので、これ
なら在宅で母は過ごせ
るし、介護も続けられ
そう」と訪問介護が支
えになっていると語り
ます。

ヘルパーは語る

「やりがいと誇り」
を持っています

ふれあいサポート 渋谷

所長 石井淳香

在宅において医療と
介護は両輪。どちらが
欠けても安心安楽な在
宅生活は有り得ませ
ん。私達ヘルパーは、
ご利用者の生活に最も
密接にかかわる仕事を
していますが、地域・
医療・家族も含めてト
ータルでご利用者の生
活を客観的に捉えるこ
とが出来ると感じいま
す。
ご利用者の心に寄り
添い、介護する家族の
気持ちと技術を支え、
「いつもと違う」を的
確に、かつ早期に医療
に繋ぐ事が求められま
す。安心の在宅生活の一
端を担っている事は私
達のやり甲斐でもあり
誇りでもあります。

ヘルパーを

どんどん増やしたい

ふれあいサポート

代表取締役

北原恵美子

在宅介護になくて
はならない訪問介護
サービスですが、役
割の割には介護報酬
が見合っていないた
め、担い手が思うよ
うに確保できないのが
現状です。
ようやく国も介護
職員の処遇改善に乘
り出しました。ま
た、自治体独自でも
介護人材確保・育成
のために様々な施策
が取り組まれていま
す。
ふれあいサポート
では質の高いヘルパ
ーを増えるようにしたい
ものです。ヘルパーがどんな
に、一人ひとりの職
員に応じた研修に力
を入れているところ
です。ヘルパーが確
保できなければこれ
からの在宅介護は崩
壊します。
在宅介護を支える
ヘルパーがどんな
に増えるようにしたい
ものです。

代々木病院

介護保険企画室

松井多美子

ヘルパーさんは専門
職として、きめ細やか
な介護をしています。
利用者さんにとって
は、こう対処したら大
丈夫という関係を築い
てきています。
ケアマネジャーとし
ても勉強になります
し、安心して介護サー
ビスをお願いできま
す。

健康まつり2009

小雨決行・入場無料

●日 時 10月4日(日)
午前10時～午後1時

●場 所 代々木病院

●企 画
体力・健康測定、健康・介護・お薬相談、
健康講座、歯科コーナー、文化行事、包丁
とまな板とぎ、展示コーナー、各種模擬店、
くじ引きなどを予定

●主催●健康まつり実行委員会

手術台

戦後64年
の夏も、戦
争や被爆体
験が語られ
た。「もう
二度とこん
な体験はイ
ヤだ」という願いが
伝わってくる。未来
に希望を託て、辛か
った体験を語り、そ
れを聞く者が受けと
めるのである。▼と
ころが、8月6日に
被爆地である広島
で、「ヒロシマの平
和を疑う」という講
演会が行われ、田母
神俊雄氏が、「被爆
者の手紙」なるもの
まで持ち出して「核
武装」を説いた。死
神のように未来への
絶望を語る。被爆者
の中に核武装支持者
がいるそうだが、そ
んな手紙で簡単に騙
されるような知性で
はいけない▼8/7
付毎日新聞夕刊に歌
手の美輪明宏さんの
話が掲載されてい
た。美輪さんは被爆
体験を語り、「軍部
は知力がなく、非科
学的。日本人は野蛮
人だった。その愚か
さの結果が原爆です
よ」と知性の大切さ
を説く。総選挙で自
民党大敗が予測され
る情勢に、「新しい
息吹を感じる」「古
い汚いものは自滅し
ていく」と未来への
希望を語る。私たち
の手で、「古い汚れ」
を一掃し、平和をつ
くろう。(か)